

October 23, 2020

【前日の為替概況】NY株高・米10年債利回り上昇でドル上昇、104.92円、1.1812ドル

22日のニューヨーク外国為替市場でドル円は反発。終値は104.86円と前営業日NY終値(104.59円)と比べて27銭程度のドル高水準。対ポンド中心に前日急速に進んだドル安に対する調整の動きが強まり円売り・ドル買いが優勢となった。市場では「米追加経済対策の行方や米大統領候補討論会など重要イベントを前にポジション調整目的のドル買い戻しが入った」との声が聞かれた。前週分の米新規失業保険申請件数や9月米中古住宅販売件数が予想より強い内容となったこともドル買いを促し、104.92円と日通し高値を更新した。米10年物国債利回りが0.8680%前後と6月9日以来の高水準を付けたことも相場の支援材料。

ユーロドルは5営業日ぶりに反落。終値は1.1818ドルと前営業日NY終値(1.1861ドル)と比べて0.0043ドル程度のユーロ安水準。欧州市場序盤に一時1.1867ドルまで値を上げたあとは米重要イベントを控えたポジション調整目的のユーロ売り・ドル買いが優勢となり、一時1.1812ドルと日通し安値を更新した。その後の戻りも1.1837ドル付近にとどまった。

ユーロ円は小幅続落。終値は123.94円と前営業日NY終値(124.06円)と比べて12銭程度のユーロ安水準。ユーロドルの下落につれた売りが出て21時30分過ぎに一時123.65円と日通し安値を付けたものの、ドル円が上昇するとユーロ円にも買い戻しが入り124.08円付近まで下げ渋った。

ポンドドルは軟調。前日の海外市場で英国と欧州連合(EU)が自由貿易協定(FTA)など将来関係を巡る交渉が再開されると伝わり、一時1.3177ドルと9月8日以来の高値を付けた反動が出た。日中を通してポンド売り・ドル買いが優勢となり、一時本日安値となる1.3071ドルまで値を下げた。良好な米経済指標が相次ぎ、米長期金利が上昇したことも相場の重し。

【本日の東京為替見通し】米大統領候補討論会と追加経済対策協議に注目か

本日の東京外国為替市場のドル円は、日本時間10時(米国東部時間午後9時)からテネシー州のナッシュビルで開催予定の第2回米大統領候補討論会や米国の追加経済対策法案の協議に注目する展開となる。

8時30分に発表される9月全国消費者物価指数(CPI、生鮮食品を除く総合)は前年比▲0.4%と予想されている。日本銀行は28-29日に開催する金融政策決定会合で、政府の観光支援事業「GoToトラベル」による短期的な宿泊料の下落を踏まえて、経済・物価情勢の展望(展望レポート)で、2020年度の消費者物価(除く生鮮食品、コアCPI)の前年度比見通し(0.5%下落)の引き下げを議論することが予想されており、要注目となる。

米国の新型コロナウイルス経済対策法案に関しては、民主党のペロシ下院議長は、「協議は進展しており、法案が非常に近くまとまる可能性がある」と述べたものの、クドロー国家経済会議(NEC)委員長は、会議(NEC)のカドロー委員長は、「重要な政策の相違が残っており、11月3日の大統領選前に解消されそうにない」と警告しており、予断を許さない状況が続いている。

第2回米大統領候補討論会は、前回のように相手が発言中に遮ることを防ぐため「ミュート」されることになっており、論点は、新型コロナウイルス対策、アメリカの家族問題、アメリカの人種問題、気候変動、国家安全保障、リーダーシップ、となっている。不思議なことに、米大統領にとって重要な課題である「外交政策」が除外されている。

トランプ米大統領が突きたいポイントは、ニューヨーク・ポスト紙が報じたウクライナのプラズマ者幹部のメールが予想され、起死回生策として、2021年2月に期限が切れる米ロ新戦略兵器削減条約(新START)の延長という外交的成果が予想されている。

バイデン民主党候補が突きたいポイントは、ニューヨーク・タイムズ紙が報じたトランプ米大統領が中国の金融機関に保有する銀行口座なのかもしれない。

ドル円のオーダーは、上値には、一目均衡表・転換線105.05円の下105.00円にドル売りオーダー、超えるとストップロス買いが控えており、下値には、21日の安値104.34円の下104.30円にドル買いオーダー、割り込むとストップロス売りが控えている。

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>

- 08:30 ☆ 9月全国消費者物価指数（CPI、生鮮食品を除く総合、予想：前年比▲0.4%）
- 08:30 ☆ 9月全国CPI（生鮮食料品・エネルギー除く、予想：前年比▲0.1%）
- 未定 ◇ 10月月例経済報告

<海外>

- 08:01 ◇ 10月英消費者信頼感指数（Gfk調査、予想：▲28）
- 10:00 ◎ 米共和、民主両党大統領候補のテレビ討論会
- 14:00 ◎ 9月シンガポール消費者物価指数（CPI、予想：前年比▲0.3%）
- 15:00 ◎ 9月英小売売上高（自動車燃料含む、予想：前月比0.2%／前年比3.7%）
◎ 英小売売上高（自動車燃料除く、予想：前月比0.5%／前年比5.0%）
- 16:15 ◎ 10月仏製造業購買担当者景気指数（PMI）速報値（予想：51.0）
- 16:15 ◎ 10月仏サービス部門PMI速報値（予想：46.8）
- 16:30 ◎ 10月独製造業PMI速報値（予想：55.1）
- 16:30 ◎ 10月独サービス部門PMI速報値（予想：49.2）
- 17:00 ◎ 10月ユーロ圏製造業PMI速報値（予想：53.1）
- 17:00 ◎ 10月ユーロ圏サービス部門PMI速報値（予想：47.0）
- 17:30 ◎ 10月英製造業PMI速報値（予想：53.1）
- 17:30 ◎ 10月英サービス部門PMI速報値（予想：54.0）
- 19:30 ◎ ロシア中銀、政策金利発表（予想：4.25%で据え置き）
- 22:45 ◎ 10月米製造業PMI速報値（予想：53.4）
- 22:45 ◎ 10月米サービス部門PMI速報値（予想：54.6）
- 22:45 ◎ 10月米総合PMI速報値
- 23:00 ◎ ラムスデン英中銀（BOE）副総裁、講演
- 25日 欧州が冬時間に移行

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

【前日までの要人発言】

22日 06:54 トランプ米大統領
「民主党のペロシ氏らが刺激策巡り国民にとって正しいことをしたがっているとは思わない」

22日 18:22 ホールデン英中銀金融政策委員会(MPC)委員
「BOEはマイナス金利を検討しているが、導入の準備を意味していない」
「マイナス金利に関する新たな情報はない」

22日 19:50 スナク英財務相
「難しい日々と週が控えている」
「来週に雇用と産業の追加保護策に着手する」
「ビジネスを継続している企業も深刻な不確実性に直面している」
「現金供与は月間2100ポンド相当になるだろう」

22日 20:03 トルコ中銀声明
「商業・消費者ローンで観測された正常化の傾向がより顕著」
「金融環境の大幅な引き締めが達成された」
「慎重な金融スタンスを継続する必要」
「物価安定と金融安定の目標を追求するために、利用可能なあらゆる手段を引き続き利用」
「新たなデータや情報があれば、委員会のスタンスを見直す可能性があることを強調」

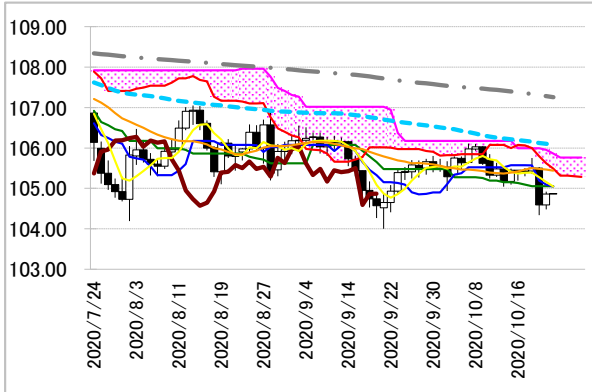
22日 21:48 ペロシ米下院議長
「法案の交渉に進展がみられる」

22日 23:57
「米追加経済対策の合意にすぐそこに」

23日 01:51 プーチン露大統領
「必要ならば一段と原油生産を削減する用意」

※時間は日本時間

〔日足一目均衡表分析〕

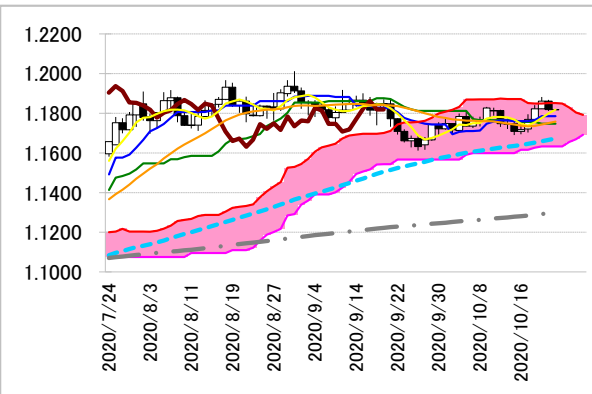


<ドル円=雲の下限を抵抗に売り戻りスタンス>

陽線引け。遅行スパンは実線を上回っているものの、一目・転換線は基準線を下回り、一目・雲の下、一目・転換線の下で引けていることで売りシグナルが優勢な展開となっている。21日の大陰線での下落後、22日の孕み線で反発してものの、転換線を下回って引けており、反落の可能性が示唆されている。

本日は、雲の下限を抵抗に売り戻りスタンスで臨み、同線を上げた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	105.49(日足一目均衡表・雲の下限)
前日終値	104.86
サポート1	104.34(10/21 安値)
サポート2	104.00(9/21 安値)

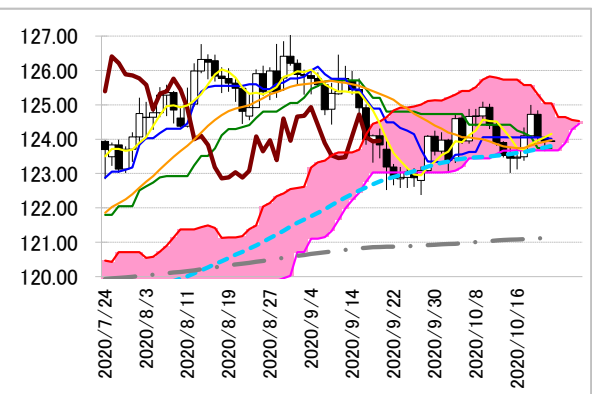


<ユーロドル=雲の上限を抵抗に売り戻りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を上回っているものの、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の中で引けていることで、三役好転が解消した。4手連続陽線で上昇後、抱き線で反落したことで、続落の可能性が示唆されている。

本日は、雲の上限を抵抗に売り戻りスタンスで臨み、同線を上げた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	1.1851(日足一目均衡表・雲の上限)
前日終値	1.1818
サポート1	1.1747(日足一目均衡表・基準線)

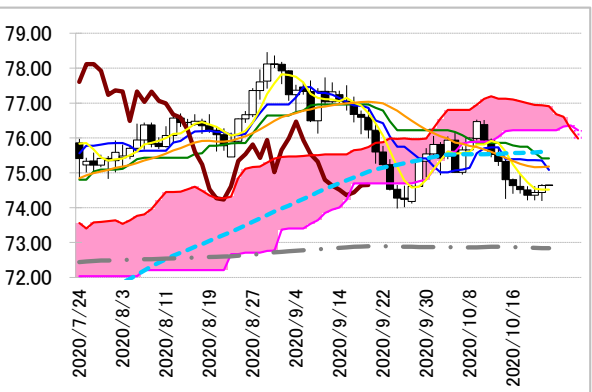


<ユーロ円=雲の上限を抵抗に売り戻りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の中、転換線を下回って引けていることで、売りシグナルが優勢な展開となっている。2手連続陰線で転換線を下回って引けたことで、続落の可能性が示唆されている。

本日は、雲の上限を抵抗に売り戻りスタンスで臨み、同線を上げた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	125.05(日足一目均衡表・雲の上限)
前日終値	123.94
サポート1	123.66(日足一目均衡表・雲の下限)



<豪ドル円=転換線を抵抗に売り戻りスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。2手連続陽線で反発しているものの、転換線を下回って引けていることで、反落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に売り戻りスタンスで臨み、同線を上げた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	75.09(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	74.64
サポート1	73.98(9/24 安値)

